江戸川学園取手中・高等学校

調理同好会

茨城県

2025

高校生ボランティア・アワード

EDOTORI_COOKINGCLUB

食品ロスを支援に変える、私たちの小さな一歩。

私たちは2018年から「もったいない」を「ありがとうに」を合言葉に、「江戸取フードドライブ」に取り組んでいます。家庭で余った賞味期限が2ヶ月以上の常温保存可能な食品を集め、フードバンク茨城を通じて食料を必要としている方々に届けられます。昨年度は3日間で97.1kg、これまでに累計1429.5kgの食品を寄付してきました。活動を評価され、感謝状もいただきました。過去にはこの活動をきっかけに取手市と連携し、食品ロスを考慮した給食の献立作りにも取り組みました。地域とのつながりを大切にしながら、支援と共生を広げています。

「もったいない」が「おいしい」に変わる

昨年度の紫峰祭（文化祭）では、取手市の寺沢製菓さんと協力し、廃棄予定だった干し芋の皮を活用した「SDGsチョコレート」を開発・販売しました。地域の新聞にも取り上げていただきました。食品ロス削減を目指したこの取り組みでは、売上をフードバンク茨城とフードバンク能登に寄付し、食の支援にもつなげました。

1つの料理が、2つの国をつなぐ。

2019年には「多文化共生～取手市内に住む外国の方と料理をつくろう」という取り組みを行いました。また昨年度は取手市在住のペルー出身の方をお招きし、ペルーの伝統的なおやつ「ピカロネス」を一緒に作りました。料理を通して言葉や文化の壁を越え、お互いの暮らしや価値観に触れることで、理解とつながりが深まっています。食を通じた交流が、地域の多文化共生の第一歩になるよう願いを込めて活動しています。

レモネードで届ける応援

新たな挑戦として、今年度のオープンスクールでは、調理同好会の活動の紹介と宣伝も兼ねて、レモネードスタンドを実施予定。来場者にレモネードを販売し、その売上はすべて小児がんと闘う子どもたちの治療と研究団体に寄付します。調理の楽しさを伝えると同時に、社会貢献の大切さも発信する取り組みです。

活動紹介

私たちは月に一度、土曜授業の放課後に集まり活動しています。昨年度の紫峰祭では、地域の企業と連携してSDGsに配慮したチョコレートの商品開発を行い、販売を行いました。また、フードドライブ活動も伝統を引き継ぎ継続しています。調理を楽しむだけでなく、食に関するボランティア活動にも積極的に参加しています。昨年度には公式インスタグラムも開設しました。伝統を引き継ぎながら、新たに挑戦を続けています！